



<連載(101)>

「みやぎきエクスプレス」と 「フェリー屋久島2」に乗る



大阪府立大学海洋システム工学科教授

池田 良穂

昨年 12月に、大阪～宮崎航路にマリンエクスプレスの新鋭カーフェリー「みやぎきエクスプレス」が就航した。建造は、大型カーフェリーの建造では定評のある三菱重工の下関造船所。総トン数11,931トン、全長170m、幅27m、喫水6.7m。17,820馬力のディーゼル機関2基によって、航海速力25ノットで航海することができ、試運転時の最大速力は26.55ノット。12mトラックを130台とともに、乗用車85台を搭載できる。旅客定員は690名で、2人部屋と特等から、1等、2等寝台、2等、ドライバー室などがある。公室はそれほど広くなく、エントランスホールの一画のロビーと、エントランスホールから階段上がった所の自動販売機コーナーの近くのロビー、そして食事時間帯のみ使えるビュッフェなどがある。夜に出て、早朝には目的地に到着する夜行型カーフェリーに必要最小限のものをシンプルに配置しており、日本の長距離カーフェリーとしてはその原点を指向

した旅客設備となっている。

12月 も末の連休を利用して、この新鋭カーフェリー「みやぎきエクスプレス」に乗船した。久しぶりに鹿児島にも足を延して、離島航路船の撮影もしたいということで、車を持っていくことにした。電話で、その込み具合を聞くと、乗用車であれば十分空きがあるとのこと。大学での仕事を6時すぎに済ませて、愛車で大阪南港まで走った。大学からターミナルまで、高速道路を使えば、わずか30分ほどの距離である。

ターミナルでは、イルミネーションも眩しい「みやぎきエクスプレス」が荷役の最中であった。2層のトラック甲板をもつ、トラック輸送に重心を置いた船だけに、外観は旅客区画が船首側にこじんまりとまとまっており、欧米のトレーラーフェリー（ドライバー定員を100～200名分持つ船が多い）に近い印象を受けた。今後、日本の長距離カーフェリールートでも、

このタイプの船が増えるに違いない。乗用車用の車両甲板は、船体中央のトラック甲板の下の区画に3層にわたって設けられている。

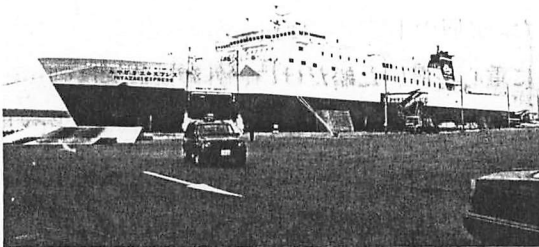
駐車場で待機していると、やがて乗用車の乗船時間となる。船首サイドのランプから船内に乗り込み、船内の下りのランプを使って乗用車甲板へと2層下りる。ここから、旅客スペースまでの階段が結構長い。陸上のビルにすると5～6階はあるから当然だが。このように、船としては積みつけ効率をできるだけ良くするように設計された乗用車甲板であるが、トラックなどの荷役がある程度終わらないと下船ができず、港に到着してからの下船に時間がかかること、乗用車甲板から旅客スペースまでの高低差が大きいことなど、旅客にとっては若干使い難いものになっている。

乗用車甲板から荷物を抱えて旅客スペースに到着すると、エントランスホールに出る。インフォメーションカウンター、売店、ゲームセンターなどが並び、その反対側にはbuffetがある。船室に荷物を置いてから、船内をゆっくりと回り、buffetで食事をすることにし

た。buffetは、一般客用とドライバー用に別れており、食事は新幹線のbuffetのように各種の惣菜のパックが並べられている中から好きなものをとるようになっている。枝豆、トンカツ、御飯のパックを選んでレジに向う。この他に、カレーライスとうどんは注文することができるようだ。ビールはレストラン内の自動販売機で購入するようになっており、食器類もプラスチックパックだからそのままごみ箱に捨てるようになっていて、いかにも合理的。ただ、船旅を楽しもうという層にとっては、全く優雅さには欠けており、ちょっと辛い食事ではある。

食事を終えた後に寛げるバーやラウンジがないのも辛い。しかたがなしに、船室に戻りテレビを見ながら、自販機で買ったビールを飲むうちに夜も更けた。

翌朝 目を覚ますと、九州の山波が見え始めている。buffetでは朝食のバイキングが始まっている。800円で、プラスチックのトレイに好きな料理を盛っていくというもの。この方が昨日の夕食よりはまだ救われた感じがする。和食を食べた後、コーヒーで仕上げをする頃には、船も宮崎のターミナルに近づく。船内放送で、乗用車の下船は到着後20分ほど後になるので船室で待つようにとの指示がある。こうした指示が放送で何度も繰り返されているので、あまりいらいらすることもない。やがて、乗用車客にも車へ戻るように指示がある。車を運転してランプウェイから外にでると、そこは

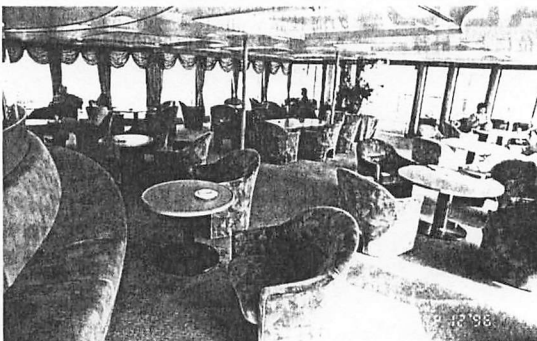
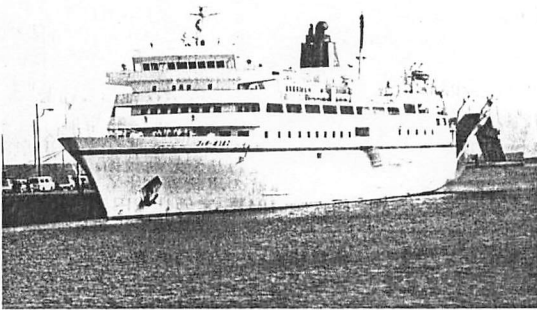


みやざきエクスプレス

もう九州である。気温がずいぶん高いのに驚かされる。

岸壁で「みやざきエクスプレス」の姿をカメラに納めた後、高速道路の入口に向い、宮崎インターチェンジから高速道路に乗れば2時間ほどで鹿児島である。日南海岸、高千穂など、車で移動すればすぐの観光地も多いので、やがては欧州のようにカーフェリーを利用して自家用車で旅行する人の数も急速に増えるに違いない。これからは、いかに乗用車客の需要を増やすかが、日本の長距離カーフェリー事業にとって重要なポイントになるに違いない。

鹿児島 の港に到着すると、桜島が眼前に雄大に広がる。港には、沖縄、奄美航路のカー



フェリー屋久島2とそのラウンジ

フェリー、三島村の村営船、種子島、屋久島航路の客船などが停泊しており、桜島とを結ぶカーフェリーが引切りなしに往復している。

鹿児島のホテルに泊って、港通いをするにすることにする。早朝には、沖縄や奄美からの船が鹿児島新港に入ってくるので結構忙しい。入港船の写真撮影が一段落して、旅客ターミナルに戻ると、もうすぐ屋久島行きの折田汽船の「フェリー屋久島2」が出港するという。この船は離島航路船にしては内装のグレードが高いので、たくさんの雑誌などでも紹介された評判の船である。一瞬躊躇はしたものの、次の瞬間には窓口で「屋久島まで」と切符を購入していた。海は荒れ始めているが、帰りが欠航ということもあるまい。

乗船してみて「フェリー屋久島2」の船内のグレードの高さには驚いた。最近では、五島航路の「太古」や佐渡航路の「おけさ丸」など、グレードの高いカーフェリーが増えてきているが、この船も離島航路船の中ではピカーの存在だといってよい。船首にある見晴しのよい展望喫茶ラウンジに席をとり、4時間余りの航海をゆったりと楽しむことができた。ここ以外に、最上階の広いラウンジや、サウナ付きの展望浴場、カラオケボックス、シアター、うどんコーナーなどもある。

屋久島では、40分ほど停泊していたので、上陸して外側から「フェリー屋久島2」の姿を觀賞した。12月も末とはいえ、屋久島は暖かく、陽光の中で同船が輝いている。斜め前から眺めてみて、同船のブリッジから船首附近にかけ

て、カリブ海クルーズ客船のパイオニア的存在であるソング・オブ・ノルウェー型のクルーズ客船に非常によく似ているのに感動した。かなり客船の外形についても研究して建造したであろうことが伺われる。

再び乗船して、出港するまで、デッキから荷役風景を眺めていた。出港直前になって、各種の宅配便のトラックが次々と駆けつけ、荷物を船に積み込んでいく。離島でも、ずいぶん宅配便が利用されるようになってきていることに驚い

た。

飛込みのトラックが続いたため、出港は15分ほど遅れた。「フェリー屋久島2」は結構荒れた海を北上して鹿児島へと向う。ジェットフォイルは欠航になっているようだ。上部のデッキまでしぶきがあがって、時々展望喫茶の前面のガラス窓が洗われるが、船体運動自体はそれほど大きくもない。錦江湾に入ると海も穏やかになる。やがて、夕闇迫る頃、桜島が見え始め、定刻より20分ほど遅れて鹿児島港に到着した。

発行図書案内

定価・発送費(〒)は消費税込み

● SEAMAN'S DIARY '97

船員日記 一平成9年版一

成山堂編集部編 使い易い記載欄、そして「海事関係アドレス」始め便利な付録。今年も内容充実です。A 5判 240頁 定価1500円(〒390)

海洋計測工学概論

田口一夫・田畑雅洋共著 潮流・海水温度・海底の形態等の計測技術と各種計測機器を詳しく説明した。A 5判 336頁 定価4000円(〒390)

和英対訳 船の料理人が選ぶ和食の定番

Chief Stewards' Selections A Guide to Popular Japanese-Style Meals

商船三井広報室編 貴船の厨房に重宝な1冊。B 5判 134頁 定価3500円(〒390)

英和対訳 国連海洋法条約〔正訳〕

外務省経済局海洋課監修 平成8年7月、日本も批准。船舶通航や漁業等の新秩序となる本条約を正訳。A 5判 528頁 定価6800円(〒500)

* 海事・交通図書出版

成山堂書店

図書目録進呈▶ 〒160 東京都新宿区南元町4-51 成山堂ビル
Phone 03(3357)5861・FAX 03(3357)5867

● 交通ブックス 208

内航客船とカーフェリー

大阪府立大学工学部教授 池田良穂著
国内のあらゆる旅客船、遊覧船、カーフェリーなどをくまなく紹介。船の移り変わりや最新技術、建造過程、運航の現状等がよくわかる。四六判 184頁 定価1500円(〒360)

機関算法のABC

—S I 単位による計算—

折目耕一・升田政和共著

基本的な機関算法について、現在の海技試験の傾向に依りS I 単位を用い解説した。各章末には過去の海技試験問題(4・5級)も収録。A 5判 232頁 定価2800円(〒390)

海で働く人の健康と体力づくり

神田 寛・村山義夫共著

船上に限られた環境の中でいかに健康を管理すべきか。船の振動や騒音等から健康を守る方法、船上でできる運動不足解消法を長年の調査より解説。A 5判 194頁 定価3400円(〒390)

最新 船員法及び関係法令

運輸省海上技術安全局船員部労働基準課監修

STCW 条約関係の法律、政・省令、告示の改正を平成8年12月現在で完全収録。運輸大臣が告示で定める基準(タンカー関係、旅客船の教育訓練関係)併収。A 5判 434頁 定価3000円(〒390)